



あな
たの
支
援

未
来に
つ
な
が
る

TOHOKU UNIVERSITY FUND

REPORT 2025

東北大学基金レポート
(2024年度の活動記録)

世界を先導する研究大学へ —— 国際卓越研究大学認定を礎に、未来を拓く



東北大学の挑戦を支えてくださる皆さまへ、心より感謝申し上げます。

日々、皆さまから寄せられるご支援とご期待は、私たちが未来に向けて一步を踏み出す大きな力となっています。志を共にしてくださる皆さまの存在が、東北大学の原動力であり、私たちがより高みを目指す勇気の源です。

このたび、東北大学は「国際卓越研究大学認定制度」第一号として認定・認可されました。これは、本学において新たな時代の幕開けであり、「世界を先導する研究大学」として歩む道を力強く示すものです。皆さまの継続的なご支援が、この大きな節目を可能にしました。

これからの時代に求められるのは、単なる知識の伝達ではなく、グローバルな課題に果敢に挑み、社会を変革する力を持った人材の育成です。グローバル化が進むなかで、東北大学は、リーダーシップを備えた若者を育て、世界と共に歩む教育・研究の推進に取り組んでいます。

皆さまのご寄附は、その取り組みを支える大きな力です。未来を拓く知と人を育むこの歩みに、引き続きご支援を賜れば幸いです。今後とも東北大学をどうぞよろしくお願い申し上げます。

東北大学総長

畠 永 悌 二

2024年度 東北大学基金へのご寄附

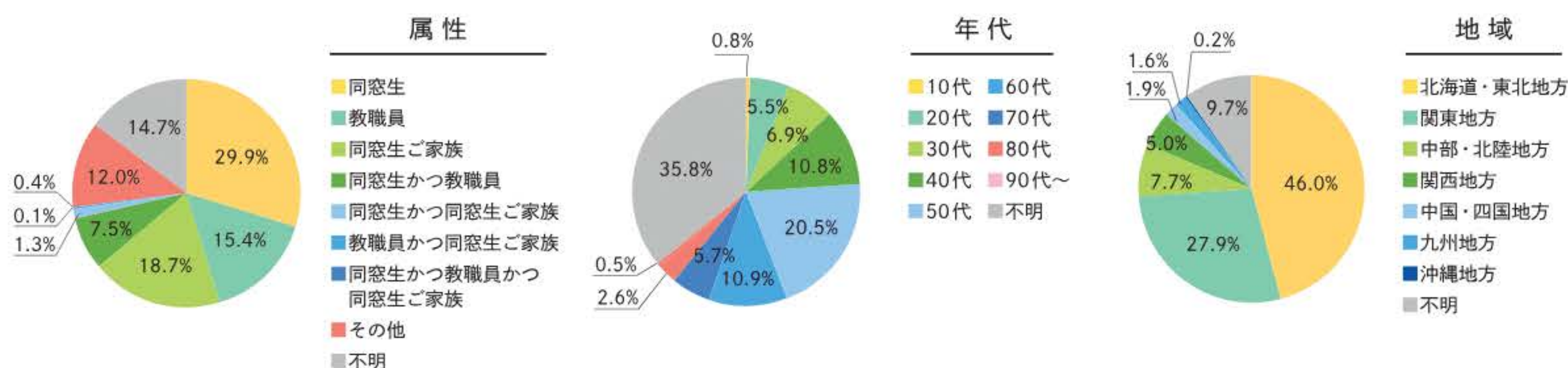
東北大学基金に貴重なご寄附をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

2008年度設立当初から2024年度までの東北大学基金へのご支援累計は以下となりました。

■2024年度 東北大学基金へのご寄附詳細

東北大学基金へのご支援累計 (2008年度創立～2024年度)		2024年度 東北大学へのご寄附詳細	
累計総額	9,459,151,574 円	累計総額	723,231,405 円
累計総件数	65,062 件	累計総件数	11,464 件

■東北大学基金は皆さまからのご寄附により支えられています。



ご支援という確かな基盤とともに

このたび、社会連携・校友会・基金担当の副学長として着任いたしました今村文彦です。日頃より東北大学に寄せられる温かいご支援に、心より感謝申し上げます。大学における研究・教育活動の重要性は、社会の変化が加速する今こそ、ますます高まっています。私たちは、未来を担う人材を育て、知の力で社会課題を解決するという使命を果たすべく、日々取り組んでいます。

その挑戦を支えているのが、皆さまからのご厚志により運営されている東北大学基金です。基金は、東北大学の活動を持続的に支える「確かな基盤」であり、その基盤はまさに、寄附者お一人おひとりのご支援によって成り立っています。

私たちは、その思いに真摯に応え、いただいたご寄附を有効に活用し、確かな成果へと結びつけることを最優先に取り組んでまいります。今後もその活用状況や成果を積極的に発信し、皆さまと成果を分かち合えるよう努めてまいります。

引き続き、東北大学の未来にご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

東北大学 副学長（社会連携・校友会・基金担当）

今村 文彦



2024年度寄附受入内訳

2024年度は総額 **723,231,405** 円をご寄附いただきました。

一般基金	■ 一般基金	5,589 件	382,400,644 円
	■ 古本募金	82 件	130,482 円
	■ リユース募金	6 件	30,754 円
プロジェクト特定基金	■ 修学支援基金	503 件	24,091,000 円
	■ 博士課程支援基金	109 件	4,838,000 円
	■ 萩友会支援基金	1,130 件	1,797,000 円
	■ 学友会支援基金	400 件	21,985,564 円
	■ 減災教育研究助成基金	15 件	523,000 円
	■ 知のフォーラムTFC基金	17 件	11,579,000 円
	■ DEI推進基金	36 件	833,000 円
	■ 震災復興支援基金	8 件	84,000 円
	■ 原子力災害からの復興に向けた研究支援基金	26 件	66,000 円
	■ 研究者育成支援基金	49 件	1,623,000 円
	■ スタートアップ事業化支援基金	46 件	7,327,533 円
	■ 大内国際交流支援基金	2 件	95,130,711 円
	■ ANEMONE データベース支援基金	106 件	4,980,000 円
	■ 次世代のスマート・リサーチ・コンプレックス形成基金	1 件	5,000,000 円
	■ 東北大学MOOC支援基金	12 件	43,000 円
	■ サステナブル・オーシャン・サイエンス基金	2 件	1,001,000 円
	■ 東北大学FUKUSHIMAサイエンスパーク支援基金	11 件	200,000 円
	■ その他	6 件	62,000 円
部局特定基金	■ 文学部・文学研究科 文学教育研究支援基金	80 件	1,588,000 円
	■ 教育学部・教育学研究科 みらいの教育研究支援基金	24 件	366,000 円
	■ 法学部・法学研究科 法学教育研究支援基金	66 件	21,140,100 円
	■ 経済学部・経済学研究科 みらい創造基金	199 件	7,634,967 円
	■ 理学部・理学研究科 理学教育研究支援基金	119 件	1,838,500 円
	■ 医学部・医学系研究科 未来医療への22世紀基金	119 件	14,382,675 円
	■ 歯学部・歯学研究科 歯学教育研究支援基金	173 件	1,553,579 円
	■ 薬学部・薬学研究科 薬学教育研究支援基金	101 件	2,492,000 円
	■ 工学部・工学研究科 未来への挑戦基金	221 件	16,248,857 円
	■ 農学部・農学研究科 農学教育研究支援基金	77 件	11,462,002 円
	■ 国際文化研究科 教育研究支援基金	2 件	130,000 円
	■ 情報科学研究科 情報科学の未来基金	28 件	152,000 円
	■ 生命科学研究科 生命科学教育研究支援基金	33 件	513,581 円
	■ 環境科学研究科 教育研究支援基金	6 件	23,484 円
	■ 医工学研究科 教育研究支援基金	16 件	340,000 円
	■ 金属材料研究所 材料科学研究教育助成基金	108 件	7,722,993 円
	■ 加齢医学研究所未来基金	4 件	113,910 円
	■ 流体科学研究所 流体科学支援基金	4 件	180,000 円
	■ 電気通信研究所 インタラクションの森基金	50 件	1,823,000 円
	■ 多元物質科学研究所 未来につなぐ“モノ”づくり基金	43 件	220,000 円
	■ 災害科学国際研究所 災害研究の英知を次代へ基金	49 件	2,342,786 円
	■ 学術資源研究公開センター 植物園未来基金	32 件	1,491,000 円
	■ 東北大学総合学術博物館基金	29 件	604,000 円
	■ 未来科学技術共同研究センター 産業創出支援基金	4 件	21,411,863 円
	■ 東北メディカル・メガバンク機構 地域とToMMoに基金	58 件	7,535,654 円
	■ 学際科学フロンティア研究所 学際科学若手研究者支援基金	2 件	11,000 円
	■ 国際放射光イノベーション・スマート研究センター(SRIS) 未来を照らす“ひかり”基金	7 件	1,493,114 円
	■ グリーンクロステック研究センター研究支援基金	8 件	190,000 円
	■ 東北大学附属図書館 図書館のみらい基金	38 件	449,652 円
	■ スマート・エイジング学際重点研究センター スマート・エイジング生涯健康脳基金	3 件	30,000 円
	■ 東北大学病院 みんなのみらい基金	455 件	11,302,000 円
クラウドファンディング	■ クラウドファンディング	1,150 件	22,719,000 円
合 計		11,464 件	723,231,405 円

過去3年の寄附受入推移



寄附者顕彰 (2008年度創設～2024年度)

賞		個人数 (累計)	法人・ 団体数 (累計)
荣誉功劳賞	個人:3,000万円以上 法人・団体:1億円以上	18	5
特別功劳賞	個人:1,000万円以上 法人・団体:5,000万円以上	36	9
功 勞 賞	個人:100万円以上 法人・団体:1,000万円以上	300	35
特別功績賞	個人:50万円以上 法人・団体:500万円以上	299	41
功 績 賞	個人:10万円以上 法人・団体:100万円以上	2,656	165

(2025年3月末現在)

報告

2024年度「東北大学基金 功労賞等贈呈式・感謝のつどい」を開催しました。

※「感謝のつどい」は功績賞（累計10万円以上のご寄附）以上を受賞された方をお招きし開催するもので、今回で12回目の開催となります。

2024年8月31日（土）、東北大学百周年記念会館 川内萩ホールにて「東北大学基金功労賞等贈呈式」および「東北大学基金感謝のつどい」を開催いたしました。「功労賞等贈呈式」では、昨年度功労賞以上を新規に受賞された15組の方へ、富永総長より記念プレートが贈呈されました。また、「感謝のつどい」では、東北大学基金からの活動報告、学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ！」に挑戦した学生からの発表に加え、富永総長より「東北大学が描く未来像」と題して、本学のこれまでの取り組み、

そしてこれからの展望について講演がありました。「感謝のつどい」終了後には、ナノテラスのほか、青葉山ユニバース・国際放射光イノベーション・スマート研究センター（SRIS）、植物園、学術総合博物館、附属図書館の5コースの中から1コースを選択し、見学するオプションルツアーを開催し、153名の方にご参加いただきました。各施設にてガイドの教員等から詳しい説明があり、ご参加いただいた皆さまにはご好評をいただきました。



功労賞等贈呈式の様子



感謝のつどいの学生からの発表の様子

2024年度 TOPICS

基金 TOPICS

5・6月

- 「第1弾100円朝食提供サービス※¹ (5/7-5/24)」を実施
- 第10回相続・遺言セミナーを開催 (5/11)
- 「学生応援頭脳ドーナツの提供 (6/10～6/28)」を実施。※¹

7月

- 「国際放射光イノベーション・スマート研究センター (SRIS) 未来を照らす“ひかり”基金」を設置 (7/2)
- 寄附付き商品「東北大学 × 希望の丘醸造所 (株式会社利久) コラボビール第2弾『Kawatabi Cold IPA』」を発売 (7/31～) ※完売
- 「グローバル萩博士学生奨学金 (前期分) ※²」を給付

8月

- 基金運営委員会を開催 (8/2)
- 「東北大学留学120周年記念募金」特設サイトがオープン (8/1)
- 寄附付き商品「東北大学留学生受け入れ120周年記念プロジェクト『旅するジェラート』」を販売開始 (8/1) >> P12
- 2024年度 東北大学基金「感謝のつどい」を開催 (8/31) >> P4

11月

- 「学生応援頭脳ドーナツの提供 (11/25-12/13)」を実施。※¹



12月

- 東北大学川渡フィールドセンター産黒毛和牛を1頭丸ごと使用した「東北大学 × 株式会社利久 コラボメニュー」を販売 (12/7～) ※完売
- 「グリーンクロステック研究センター研究支援基金」を設置 (12/12)
- 寄附決済方法に PayPay (ペイペイ) を追加※³ (12/18)
- 第3回大内記念奨励賞授与式を開催 (12/2)
- 「ともプロ! ネクストチャレンジ 2024」を開催 (12/14) >> P15

東北大学全体の TOPICS

2024.4 - 2025.3

5月

東北大学懇談会を開催 (5/25)

2025年5月25日 (土) に在学生保護者の皆さまを対象とした「東北大学懇談会」を対面とオンラインによるハイブリッド形式にて開催。大学全体の取組の紹介 (午前の部) とその後に学部・研究科ごとに分かれてのプログラム (午後の部) の2部構成で実施し、本懇談会には対面・オンラインと合わせて1,000名を超える皆さまにお申込みいただきました。



昼食懇談会会場の様子

9月

「東北大学117周年ホームカミングデー」を開催しました (9/28)

2025年9月28日 (土) に開催した「東北大学117周年ホームカミングデー」。「校友歌『緑の丘』10周年」と題し、同窓生でシンガーソングライターの小田和正さんから本学にプレゼントされた校友歌「緑の丘」にスポットを当てた特別企画を展開。対面、オンライン合わせて約1,000名のお申込みをいただきました。ホームカミングデー当日は、「緑の丘」にちなんだ特別展示室を設けたほか、記念プログラムの最後には小田さんご本人から寄せられたメッセージをご紹介。「『緑の丘』を書いて良かったと、心からそう思っています。」という温かいお言葉をいただきました。また、屋外特設会場では「緑の丘」オリジナルグッズや地元企業とのコラボグッズが販売され、多くの方々に賑わいました。



「緑の丘」特別展示室

2024.4 - 2025.3

9月

- クラウドファンディング「困窮する女性や若者を守りたい|日本で広がる健康格差の実態調査を!」を実施(9/2-11/30)
- 「サステナブル・オーシャン・サイエンス基金(SOS ファンド)」を設置(9/3)
- 寄附付き商品「東北大学留学 120 周年記念 コラボビール: EVERYDAY IPA LIMITED EDITION」を発売(9/22)※完売>>P12
- 寄附付き商品「東北大学校友歌「緑の丘」グッズ第2弾(トートバッグ・野帳・クリアファイル)」を販売(9/28~)※トートバッグは完売

10月

- 「元気・前向き奨学金(経済的困窮学部学生対象奨学金)※2」を給付
- 東北大学応援月間 2024 を開催(10/1-11/30)



母校応援月間メインビジュアル

- 東北大学学生チャレンジクラウドファンディング「ともプロ! 2024」を実施(10/1-11/30)>>P15
- クラウドファンディング「進行を止めにくい「糖尿病性腎臓病」治療薬開発に向けた研究の加速へ」を実施(10/1-12/20)
- 「誰もが学べる社会を実現する『東北大学 MOOC』支援基金」を設置(10/1)
- 「第2弾 100 円朝食サービス※1 (10/17-11/15)」を実施
- 東北大学 学生支援チャリティーイベント「Tohoku University Giving Campaign 2024」を開催(10/11-10/20)>>P16

1月

- 「グローバル萩博士学生奨学金(後期分)※2」を給付

2月

- クラウドファンディング「一緒に暮らす犬や猫の未来を守りたい! Muse 細胞の応用を目指して」治療薬開発に向けた研究の加速へ」を実施(2/3-3/31)
- 「東北大学 FUKUSHIMA サイエンスパーク支援基金」を設置(2/20)
- 東北大学学生生活動広報誌「カバターン」第3号発行(2/20)
- 「Giving Campaign 2024 感謝の会」を開催(2/12)>>P16

3月

- 「スマート・エイジング生涯健康脳基金」を設置(3/1)
- 「入学前研修」の実施 合計で 61 名を支援
- 2024 年度学友会表彰・課外活動奨励賞・企画事業等助成費等の対象団体、個人を選出>>P14

※1

学生の生活支援

本学学生の生活面をサポートする「100 円朝食提供サービス」等の食による支援は、東北大学基金にいただいた寄附で実施しています。2024 年度からは、川内キャンパスに加え、青葉山キャンパス、星稜キャンパスでも実施しました。



100 円朝食の一例

※2

学生の修学・研究を支援

2024 年度支援実績

- ①「東北大学 元気・前向き奨学金※」奨学生数: 50 名
※修学支援基金の奨学金制度の呼称
 - ②「グローバル萩博士学生奨学金」奨学生数:
東北大学基金より 50 名を支援
- ① ② 詳細>>P13

※3

PayPay (ペイペイ) でのご寄附が可能となりました

東北大学基金では寄附者の皆さまの利便性向上のため、2024 年 12 月 17 日より、寄附決済方法に「PayPay (ペイペイ)」を導入しました。ぜひ、この機会に、「PayPay (ペイペイ)」をご利用ください。

- ご寄附の上限額は1回につき30万円となります。
- PayPay 寄附は、PayPay ポイントの付与および PayPay ステップの対象外となります。





スペシャルレポート

変わる、東北大学

“世界を先導する研究大学”への挑戦

東北大学は日本で初めての 「国際卓越研究大学」となりました

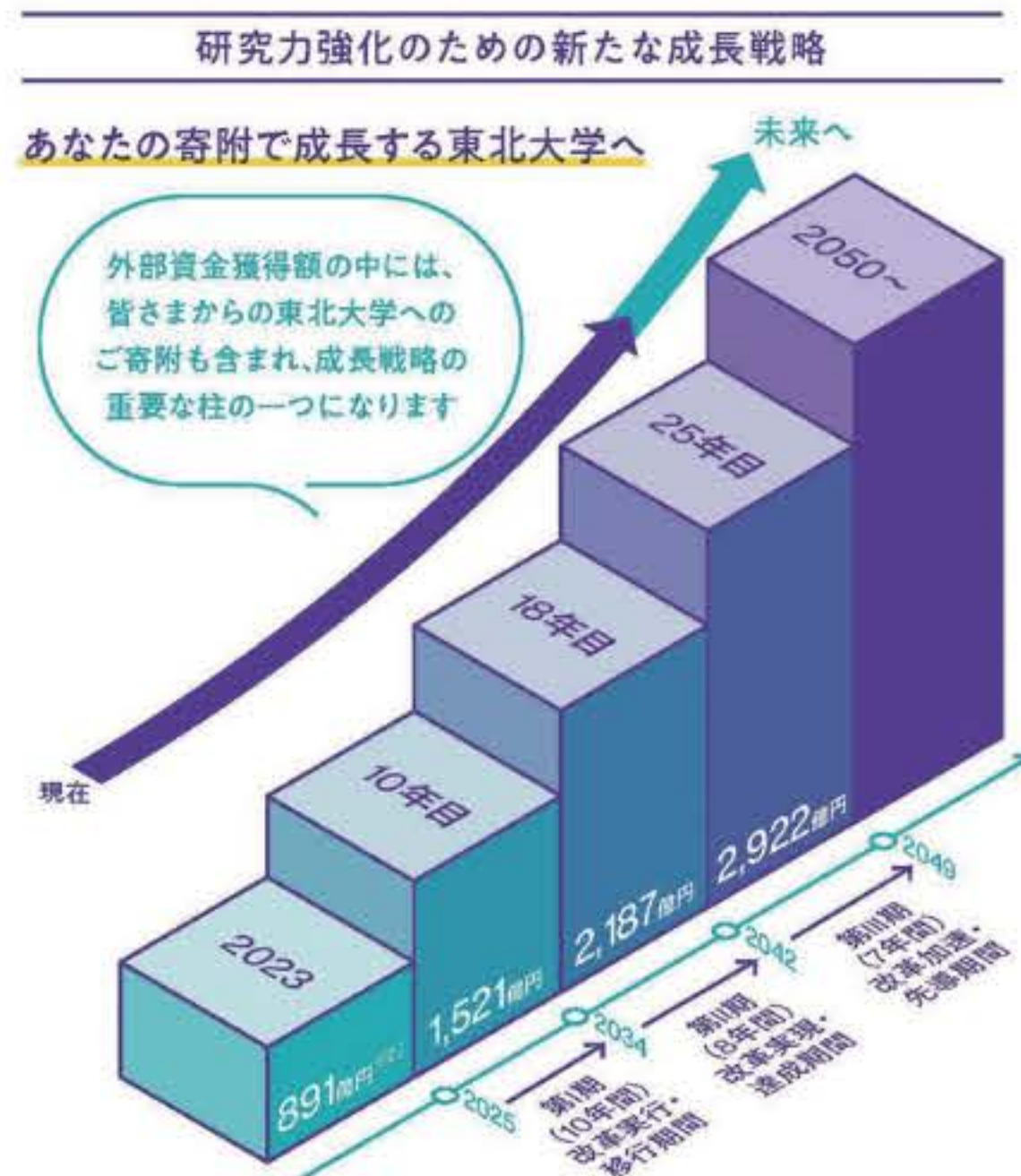
国際卓越研究大学は、国際的に卓越した研究の成果等が見込まれる大学を国が認定し支援する、新たな制度です。2024年11月、東北大学は日本で初めて国際卓越研究大学に認定されました。

あなたの寄附が東北大学を変える 「チカラ」になります

国際卓越研究大学に認定された大学は、政府が資金拠出する「大学ファンド」からの助成を受けることができます。この助成額は、大学の外部資金獲得額に応じて決定するマッチングファンド形式※1) となっています。

※1) 外部資金の獲得額が多いほど、大学ファンドからの助成額も増加する仕組みになっています。

※2) 年あたりの事業規模（大学病院分を除く）



「マッチングファンド」の仕組み

国際卓越研究大学制度では、東北大学への寄附の価値が変わります。あなたの寄附が、大学ファンドからの助成により2倍の支援につながります。

世界を先導する研究大学の実現に向けた3つの「コミットメント」と6つの「目標」

Commitments (公約)	Goals (目標) & 重点KPI
I. Commitment for Impact ：未来を変革する社会価値の創造 東北大学は、世界的に卓越した研究成果をもとに社会価値の創造を先導する開かれたプラットフォームです。私たちは、東日本大震災からの復興への貢献を通じ、多様なステークホルダーとともに、社会的使命を共有し、その自覚を強固なものとししました。研究の卓越性と多様性を力として、固定観念にとらわれずに挑戦を続け、未来を変革する社会価値の創造を行います。	A. Research Excellence — 国際的に卓越した研究エコシステム（学術的インパクト） 論文数／Top10論文数／若手研究者Top10論文数 など B. Impactful Research & Innovation — 世界に変化をもたらす研究展開（社会的インパクト） 民間企業等からの研究資金等受入額／産学共創拠点設置件数／大学発スタートアップ数 など
II. Commitment for Talent ：多彩な才能を開花させ未来を拓く 東北大学は、すべての教職員、学生・卒業生を中核とした本学コミュニティメンバーの未来価値の向上に対して継続的・重点的に投資し行動します。また、開放性と多様性を追求し、様々な社会的・文化的背景をもった多彩な才能を受け入れ、その個性を尊重するとともに、一人ひとりの成長と自己実現を促す魅力ある環境を作り上げ、活力ある未来社会を担う人材の育成に貢献します。	A. Campus for Aspiring Minds — 世界の研究者を惹きつける研究環境 外国人研究者比率／女性研究者比率／PI研究ユニット数 など B. Gateway to New Venture — 世界に挑戦する学びの創造 博士課程学生数／博士課程学生への平均経済支援額／留学生比率 など
III. Commitment for Change ：変革と挑戦を加速するガバナンス 東北大学は、卓越性と成長とともに追求する新たな知識経営体へと進化します。グローバル社会の一員として行動するため、それにふさわしい組織体制を構築するとともに、体制強化計画に記載したすべての事項を実現可能とする実効性の高い大学ガバナンスを確立します。	A. Full-Scale Global Readiness — 全方位の国際化 博士課程学生の修了時までの国際経験割合／国際対応力のあるスタッフ比率 など B. Responsive & Responsible Governance — 機動的で責任ある経営とガバナンス 自己収入比率／事業規模／独自基金造成状況 など

2050 未来へのビジョン

25年後の2050年に東北大学はどうなっているか、
また、自身がどうなっていたいかを現在在籍している
学生や教職員に「未来へのビジョン」をテーマに
インタビューをしました。

質問① 25年後の東北大学はどうなっていると思いますか？未来の東北大学に期待することは何ですか？

質問② 25年後のあなたは怎么样了ですか？（あなたの未来像）



笹川 聖（医学部医学科5年） ※2024年度当時の学年で記載しています。

①東北大学は、全国に先駆けて新たな価値を生み出し続けています。基礎研究から社会実装に至るまで、恵まれた環境下でのびのびと挑戦できることを光栄に思います。未来の東北大学はさらに高水準で、イノベーションが生まれやすい環境に発展すると思います。国際卓越研究大学として、本学がより良い社会の実現に貢献することを祈念いたします。

②私は将来、病気がある人もない人も、子供からお年寄りまで、誰もが「生きていて良かった」と思える社会をつくれます。25年後はさらに少子高齢化が進み、社会構造が大きく変化していると予想されます。そうした状況下で、どうしたら病気で苦しむ人々を幸せにすることができるのか。今も未来も変わらずこの問いを持ち続け、生涯を通じて挑戦を続けます。

千葉 美侑（教育学部3年） ※2024年度当時の学年で記載しています。

①多くの人が、アカデミアに希望を持つことができる大学になってほしいです。また、多くの高校生が大学で「自分のやりたいこと」とともに高等教育を楽しんで享受できる場になってほしいです。昨今、「大学の在り方」について取り沙汰されますが、私自身は大学に入って挑戦をできる場をたくさんいただけたことが今の自分の楽しさにつながっているので、それが25年後も続いていてください。今の大学生からの叫びです。

②大学で出会ったドイツ語や、中高から続いている検定への挑戦心は忘れず、楽しんで常に新鮮な何かに触れ続けているといいなと思います。
東北大学には、総務企画部の学生広報スタッフや学習支援センターのSCC(Student Community College)、各種プログラムなど、多くに参加させていただいているので、何か恩返しができたらいいなとぼんやり思っていますが、あと25年でできるのかなあ…と心配な面はありますが、自分なりに研鑽を積んでいけたらと考えています。



野地 智法（農学研究科・農学部 教授）

①世界の有力大学と肩を並べる国際卓越研究大学として、レベルの高い研究成果が数多く生まれていると思います。加えて、多くの外国人学生が正規学生として東北大学に所属し、完全英語による国際化された講義が一般化することで、世界で活躍できる人材が多数誕生すると期待します。

②73歳になりますので、教育・研究活動の第一線にすることは無いと思いますが、農学研究科の国際担当を長らく務めてきましたので、その時に東北大学の海外拠点に東北大学オフィスが設置されているとすれば、そこを活動拠点とし、東北大学の教育・研究活動に関わる有能人材の発掘を目的とした取り組みをしたいです。

開催報告

東北大学 国際卓越研究大学シンポジウム

日時：2025年2月6日（木）15:00～17:00

場所：東京国際フォーラム ホールB7（東京都千代田区丸の内3丁目5-1）

東北大学が第1号として国際卓越研究大学に認定・認可されたことを記念し、目指す未来像とその決意を社会に広く示すため、東京国際フォーラムを会場に本学ステークホルダーの皆さまをお招きし、「『研究の東北大学』が拓く25年後の未来像」をテーマにシンポジウムを開催しました。

シンポジウムには現地310名、オンライン267名の方にご参加いただきました。

来場者を代表してあべ俊子文部科学大臣、柴山昌彦衆議院議員、甘利明自由民主党元幹事長、上山隆大内閣府 総合科学技術・イノベーション会議常勤議員より来賓挨拶を頂戴したほか、海外パートナー4団体からのビデオメッセージ、富永悌二総長による東北大学が拓く未来像についての講演、「つくる」と「つなぐ」をキーワードに本学学生および教職員8名による未来に向けた研究展開ビジョンの発表を行いました。

終盤には、フランス国立応用科学院（INSA）グループ国際開発担当シニア・アドバイザーのMarie-Pierre Favre（マリー・ピエール・ファールブル）氏が登壇し、本学Chief Global Officer（チーフグローバルオフィサー）として着任することが発表されました。また、このたびの国際卓越研究大学認定第1号を機に、タグライン「MOVE AND SHAKE. 一知の加速が、世を動かす。」を旗印として掲げることも発表。シンポジウムの最後には、東北大学を牽引する全役員がMOVE AND SHAKE. のそろいのパーカー、Tシャツで登壇すると共に、富永総長が未来に向けた決意を表し、盛会のうちに閉幕しました。

オンデマンド配信のご紹介

シンポジウム全編はこちらからご視聴いただけます。

<https://www.youtube.com/watch?v=Rv6HFbscTX0>





(国際卓越研究大学認定第1号：タグライン) MOVE AND SHAKE. とは

人を動かし心を熱くさせることができる人、そして、秀でたアイデアをもとにリーダーシップを発揮する人を表す「mover and shaker」という言い方があります。

世界中からそんな人々が集い、育ち、活躍する場を創造すること。そして、変革の結節点となり世界に貢献するという私たち東北大学の決意を込めた言葉です。

シンポジウムの様子



シンポジウム発表者や役員が登壇



「つくる」をキーワードにした発表



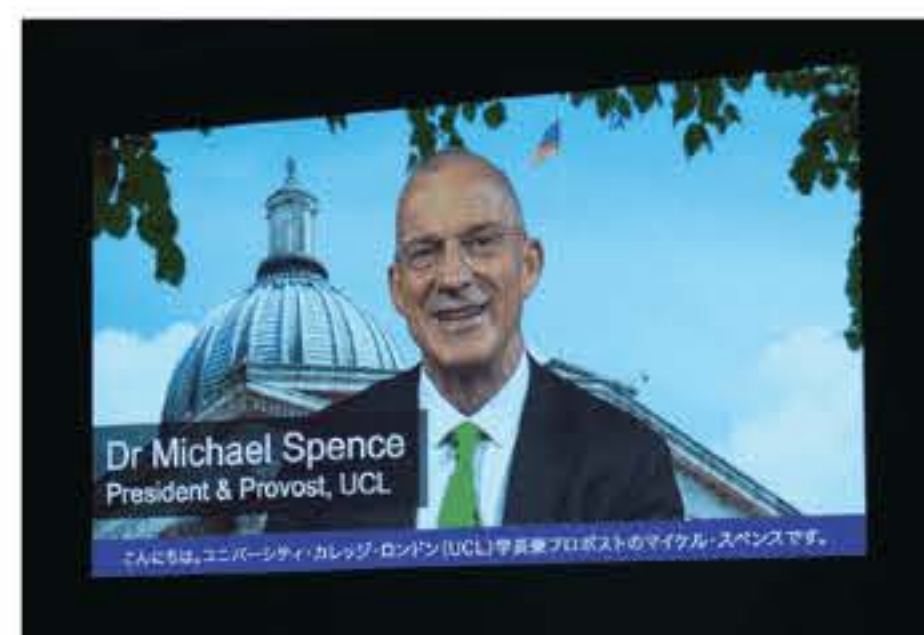
「つなぐ」をキーワードにした発表



富永総長による基調講演



マリー・ピエール・ファーブル氏が登壇



UCL Spence学長からの祝辞

グローバル人材の育成

東北大学基金では、さまざまな分野でグローバルに活躍する人材を育成するため、留学における東北大学独自の奨学金制度を設けています。また、基金を通して国内外の人材に世界基準の国際共修環境を提供しグローバルな人材を育成するためのプログラム支援、国際交流促進を実施しています。

2023年度の海外留学における主な実績

内
訳

- グローバル萩海外留学奨励賞／38名
- 短期海外研修(SAP/FL)／258名 (SAP:161名/FL:97名)
- 海外体験プログラム・ショートプログラム／46名
- 入学前研修／61名 ■ COLABS／13名
- その他：各学部・研究科での海外派遣プログラムなどから多数の学生が留学

うち東北大学基金からの支援

136名

グローバル萩海外留学奨励賞受賞者からの感謝の言葉

藤田 奈央 (経済学部3年)
※2024年度時の学年にて表記しています。

留学先／パダボーン大学(ドイツ) 留学期間／2024年9月9日～2025年2月21日

この度は、貴重な奨学金のご支援を賜り、心より御礼申し上げます。皆さまのご厚意により、私は昨年9月から今年2月までの半年間、パダボーン大学での学びを深める機会をいただきました。留学先では「リーダーシップ論」を主軸とした授業を履修しました。ビッグファイブ理論をもとに、文化によって求められるリーダーの特性が異なることを体系的に学び、ジェンダーやAIなど現代的なトピックも探究しました。特に印象深かったのは、異なる文化背景を持つクラスメイトとのグループワークです。ヨーロッパ出身の学生が多いグループでは、各メンバーが主体的に意見を述べ、オーナーシップを持って取り組む傾向がありました。一方、アジア出身の学生が多いグループでは「フォロワーシップ」の考え方が強く、他者への共感が重視されるなど、文化的な違いがリーダーシップの発揮の仕方に表れていました。この経験から、多様性を包含するリーダーシップの重要性を再認識しました。今夏、スペインとフランスでのWorld Youth Choir 2025 Sessionに参加予定です。将来のキャリアでも「多様な価値観を尊重するリーダーシップ」と「持続可能な自己成長」の両立を目指します。留学で得た「相互理解」と「自己管理」の視点は、グローバル社会で活躍する上での私の強みになると確信しています。

最後になりますが、この留学の機会をご支援くださった皆さまに改めて深く感謝申し上げます。皆さまのご厚意により、学問的知識だけでなく、生涯にわたって価値ある人間的成長を遂げることができました。この経験と学びを糧に、持続可能な方法で自己の目標に向かって邁進し、社会に貢献できる人材となるよう努めて参ります。



Unisono クリスマスコンサートでのソロ歌唱の様子

国際交流促進事業

東北大学留学 120周年記念募金

期間：2024年8月1日～2025年3月31日

ご支援件数 **372件** ご支援総額 **8,070,345円**

2024年は、本学が初めての留学生を迎え入れてから120周年※でした。これを記念し、東北大学基金ではグローバル人材育成を目的とした「東北大学留学120周年記念募金」を設置。皆さまから数多くのご支援を賜りました。また、募金事業のほかに国際交流事業として本学学生と地元企業との協働企画「東北大学 地域・社会共創『学生×じもと』プロジェクト」を始動させ、留学生や国内学生とともに寄附付き商品の販売を展開しました。

※1904年（明治37）秋、東北大学の前身である「仙台医学専門学校」に、近代中国を代表する思想家として活躍した作家「魯迅（ろじん）」が入学し、本学として初めての留学生となりました。



東北大学留学120周年記念事業：寄附付き商品の展開

（東北大学 地域・社会共創「学生×じもと」プロジェクト@国際交流事業）



9種類のジェラート

東北大学 × ジェラテリア Natu-Lino(ナチュリノ)
「旅するジェラート」

「世界旅行」をテーマに留学生＆国内学生がオリジナルジェラートを考案。宮城県内農産物等の生産現場で学び得た知識と学生の出身国の食べ物や文化を掛け合わせた全9種（9か国）のオリジナルジェラートを販売しました。

【フレーバー詳細（9種）】

- ①林檎シュトゥルーデル（オーストリア）／②ピーナッツ＆ジェリー（アメリカ）／
③エルダーフラワー檸檬（ドイツ）／④シナモンバナナ（スウェーデン）／
⑤サンザシ（中国）／⑥ドリアン（インドネシア）／⑦コーヒーバニラ（スリランカ）／
⑧抹茶パフェ（日本）／⑨マンゴーとお米（タイ）

東北大学×GREAT DANE BREWING

「EVERYDAY IPA LIMITED EDITION」

（エブリイデИАイ・ピー・エー リミテッドエディション）

本学留学生と国内学生とのプロジェクトチームがフィールドワークで訪問した秋保（あきう）地区、同地区にオープンしたGREAT DANE BREWING（グレートデーンブリューイング）株式会社が運営する醸造所などから着想を得てビールラベルを企画、デザインしました。

本学ホームカミングデー等のイベントで限定ビールとして販売をしました。



学生たちが企画とデザインを行ったラベル

●留学120周年記念事業による寄附付き商品において、売上の一部は東北大学基金に寄附され、本学の国際交流事業に役立てられます。

学生の修学・課外活動支援

東北大学基金では意欲と能力のある学生が経済的な理由で修学や研究を断念することがないように、皆さまからのご寄附による返済不要の給付型奨学金制度を設け、経済的支援を実施しています。また、学生の課外活動においても、皆さまからのご寄附を活動資金として授与しています。

■ 東北大学元気・前向き奨学金

経済的な理由で修学が困難な学部学生に対し、月額3万円を支給する給付型奨学金制度です。学生の経済的な不安を取り除き、安心して修学に専念できる環境を整備するもので、修学支援基金に寄せられたご寄附により、2017年度から実施しています。

2024年度支援数／50名
支援内容／月額3万円の給付（年額36万円）
対象学生／本学に在籍する学部学生で、
経済的支援を要する学業成績優秀者

「東北大学元気・前向き奨学金」による奨学生からの感謝の言葉

米山 凌（理学部3年）
※2024年度時の学年にて表記しています。

この度は、多大なるご厚意により「元気・前向き奨学金」を賜り、心より感謝申し上げます。皆さまからの温かいご支援は、私の学生生活を支える大きな力となり、学業に専念できる環境を与えてくださいます。私は現在物理学学科に所属しており、日々授業に励んでおります。奨学金を賜りましたおかげで、学習に必要な教材を購入することができ、より一層物理学を学ぶことができます。物理学は、現代社会の基盤を支えるテクノロジーの発展に深く関わっているため、

将来は大学で学んだ知識・経験を活かし、持続可能な社会の実現に貢献できるような仕事に就きたいと考えております。皆さまからのご支援は、私の夢の実現を後押ししてくださったことに加え、社会に貢献したいという強い意志を育んでくださいました。このご恩を決して忘れることなく、今後も学業に邁進し、将来は仕事を通して社会の発展に寄与していきたいと考えております。



■ グローバル萩博士学生奨学金

意欲と能力に溢れる優秀な学生が、本学の博士課程に進学し学術研究に専念できる環境を提供するとともに、日本の科学技術の発展に資する「創造と変革を先導する人材」の育成を目的として平成30年度から実施。年額60万円を給付奨学金として一括支給しています。また、2022年度より対象を博士前期課程学生にも拡充し支援しています。

2024年度支援数／東北大学基金からは50名を支援
支援内容／年額60万円を2回に分けて給付
対象学生／本学の大学院正規学生として在籍する者で
学業成績が優秀であるなどの要件を満たす者

「グローバル萩博士学生奨学金」による奨学生からの感謝の言葉

雁部 那由多（文学研究科 総合人間学専攻 博士前期課程2年）
※2024年度時の学年にて表記しています。

昨年度までは学費工面のため就学時間以外の大半をアルバイトに充てていたため、皆さまからのご支援により研究に専念できる時間と、安心感という金額で測れない価値をも提供していただきました。2024年度は修士論文の作成とフィールドワークの実施に専念し、3度の国内学会報告、加えてトルコ共和国で行われた国際学会「XI. INTERNATIONAL SYMPOSIUM OF SOCIAL AND APPLIED GERONTOLOGY」にも参加が叶い、研究報告を行うことができました。研究に専念できる環境が整備できたことで、今年一年間は文字通り没頭した研究がで

きたと感じています。加えて、本支援をもとに行った能登半島地震現地調査では、今後の博士論文執筆に向けた重要な研究課題に出会うことができ、来年度以降の研究継続にも弾みがつく結果となりました。本支援は、何より先々の安心感が手元にあったことが大変心強かったと感じています。これまでなら諦めていたフィールドワークや専門書の入手、研究時間の確保など、多岐にわたって「チャレンジの背中を押す」要素でした。さらなる研究に一步を踏み出す、という意味で、応援してくれる方々の存在が支えになったと思います。本当にありがとうございました。



課外活動奨励賞の授与	課外活動奨励賞受賞団体：20団体（1団体あたり5万円）
2024年度は各団体が積極的に活動を行いました。東北大学基金では、課外活動を精力的に実施した学友会の学生団体に課外活動奨励賞を授与しました。	●文化庁正規団体（4団体）／アマチュア無線部・混声合唱部・落語研究部・能楽部 ●文化庁準加盟団体（8団体）／かるた会・コントラクトブリッジクラブ・FROM THE EARTH・鉄道研究会・SCRUM・陸前高田応援サークルぽかぽか・たなぼた・競技プログラミングサークルpuzzleknot ●文化庁登録団体（2団体）／お笑いサークルGYUTAN・宇宙エレベーターチャレンジトーチ ●体育庁正規団体（4団体）／人力飛行部・応援団・アメリカンフットボール部・オリエンテーリング部 ●体育庁準加盟団体（1団体）／ストリートダンスサークルWHO ●体育庁登録団体（1団体）／無人航空技術研究会

学友会等の各受賞団体への助成			
学友会の学友会長賞、文化庁三賞、体育庁四賞を受賞した学生団体や個人のほか、顕著な社会貢献活動・地域貢献活動 などを実施した学生団体に対し助成を行いました。			
学友会会長賞（助成額 15 万円）		体育庁四賞（助成額 10 万円）	
●混声合唱部 寄田 祐真（経済学部）／硬式野球部 植木 祐樹（経済学部） 入部から卒部までの間の成績が優秀である当該年度卒業生を表彰		黒川杯 ●アメリカンフットボール部 1年間でもっとも優秀な成績を収めた団体に贈られる団体賞	
文化庁三賞（助成額 10 万円）			
石田杯 ●アマチュア無線部 学友会文化部が主催し、東北大学における学生の文化活動の向上と学風の振興を目的として、文化庁所属団体に授与される団体賞		志村杯 ●人力飛行部 1年間でもっとも行事内容の充実した団体に贈られる団体賞	
海野賞 ●アカペラコーラス部 学生文化活動の向上と学風の振興を目的とし、良好な成績、あるいは本学および地域社会への優れた貢献のあった団体を表彰する団体賞		鈴木賞 ●少林寺拳法部 安田 百福（農学部） これからの活躍が期待される成績優秀な2年生に授与される個人賞	
末光賞 ●落語研究部 阿部 空也（工学部） 前年1年間で優秀な成績を収めたもしくは各種イベント、演奏会等の企画・実施を中心的に担った学生に授与される個人賞		大谷賞 ●女子バスケットボール部●女子ラクロス部 ●フェンシング部●水球部●軟式庭球部 全国七大学総合体育大会において優勝した部に授与される団体賞	
学生団体の企画事業等への助成（1団体あたり10万円上限）		文化庁正規団体（1団体）	体育庁正規団体（3団体）
		●吹奏楽部	●応援団 ●オリエンテーリング部 ●ポディビル部
			文化庁準加盟団体（1団体）
			●陸前高田応援サークルぽかぽか

「課外活動奨励賞」受賞団体からの感謝の言葉

学友会アマチュア無線部

私たち、アマチュア無線部は“アマチュア無線の発展と会員相互の友好及び無線科学の向上に寄与すること”を目的として日々活動に励んでいます。

2024年は東北大学において八木・宇田アンテナが発明されて100周年の記念の年でした。この八木・宇田アンテナは現在でもテレビの受信アンテナを代表に様々な箇所で利用されており、誰もが一度は目にしたことがあるものだと思います。アマチュア無線部ではこの100周年の節目の年を祝い、またその偉業を広く周知することを目的として記念局を開設、運用を行いました。開局日の4月14日には工学部電気情報物理工学科主催の八木・宇田アンテナ発明100周年記念フォーラムが開催され、アマチュア無線部による体験運用、及び公開運用も行われました。また、多くの局と交信することを目的に国内外のコンテスト（決められた期間内にどれだけ多くの局と交信できたかなどを競うアマチュア無線の競技）に積極的に参加し、国内コンテストでは第54回6m AND DOWNコンテストマ

ルチオベマルチバンド東北地区優勝、第36回電信電話記念日コンテスト一般電信電話部門マルチオペオールバンド部門優勝を、海外コンテストではCQ World Wide WPX Contest MULTI-ONE-LOW Categoryにおいて国内局第1位、アジア圏内局第3位などの多くの成果を獲得することができました。コンテスト以外でも交信を重ね、2025年3月には通算10,000回の交信を達成することができました。今回いただいた奨励金は遠征時のレンタカー代や部内の無線設備代として使用させていただきます。具体的には、小電力でも海外などの遠距離の局ともスムーズに交信可能なデジタルモードFT8に対応するための無線機などの機器の新規購入や既存のアンテナ整備のための道具に充てさせていただきます。関係者の皆さまに深く感謝申し上げます。



100周年フォーラム体験運用の様子

ともプロ! 2024

学生チャレンジクラウドファンディング

本学が社会と一体となって学生の挑戦を応援する未来共創型クラウドファンディング「ともに・プログラム（通称：ともプロ!）」を2024年も実施いたしました。2024年は7件のプロジェクトが採択。また、ご支援金額が過去最高額を達成したプロジェクトも生まれました。

No.02 学食行列撲滅委員会 会計の自動化により「行列のできない学食」を実現！	No.03 Medtech Marvels 【#業務効率化で医師の働き方改革を】生き生き働ける病院を作りたい！	No.04 杜宙実行委員会 宇宙から学びや居場所づくりへと繋がる、子どもたちのためのイベントを
No.05 Flappaix 医学生と地域を繋ぎ、病気があっても安心して暮らせる宮城県へ	No.06 BEAUTY AI 全ての肌悩みの解決へ。皮膚常在細菌の検査から美肌への近道を！	No.07 StockTracker 「あ、帰り道であれ買っておけばよかった」をなくす通知アプリ

Pick UP プロジェクト

過去最高額達成！

No.01 | perple

最適な薬剤選択の支援で、てんかん患者さんに幸せな人生を！

寄附件数

228件

寄附総額

3,549,000円

達成率

710%

てんかんの個別化医療の実現を目指す医学系大学院生チーム「perple」が、「最適な治療と支援を通じて世界中のてんかん患者さんの幸せな人生を実現する」ことを使命とし、遺伝子情報を含む様々な生物学的情報（オミックス情報）と人工知能を用いててんかん患者さんの治療を最適化するための研究とその社会実装を目指すため、クラウドファンディングに挑戦しました。



Perpleのメンバー

開催報告

「ともプロ! ネクストチャレンジ2024」を初開催しました

日時：2024年12月14日（土） 場所：東北大学青葉山コモンズ

2024年12月14日（土）に、東北大学青葉山コモンズにて「ともプロ! ネクストチャレンジ2024」を初開催しました。本イベントでは、2021年から2023年に「ともプロ!」に参加した学生たちが、自らのプロジェクトをさらに発展させるため、企業や一般参加者の皆さまに向けて熱意あふれるプレゼンテーションを披露しました。当日は8つのプロジェクトが独自のアイデアや社会課題への取り組みを発表。うち、火星探査ローバーの世界大会 University Rover Challenge への挑戦と優勝を掲げた「ARES Project」の阿依ダニシさん（工学研究科D1/2023年度ともプロ参加）のプレゼンが最優秀賞を受賞したほか、音楽を通して医療現場にあたたかな医療を届ける活動について発表した「きょうゆうプロジェクト」の宮下琳太郎さん（医学部医学科6年/2021年度ともプロ参加）が優秀賞を受賞しました。東北大学基金は、熱意、創意工夫に溢れる学生の夢の実現を積極的に応援してまいります。今後とも学生たちの活動にご注目ください。



「ARES Project」の阿依ダニシさん発表の様子

※2024年度時の学年にて表記しています。

Tohoku University Giving Campaign 2024

—— “推し活 × 押勝つ”で燃えろ！あなたの応援、投票が力になる。——

東北大学・東北大学生を応援し教育・研究・課外活動への支援の輪を広げるチャリティイベント

「Tohoku University Giving Campaign 2024」を今年も実施。イベントでは応援したい学生団体への投票に加え、応援メッセージを届けたり、支援したい団体に寄附をしたりと様々な形で頑張る学生を応援いただきました。

※Giving Campaign は、企業から協賛金を募り、イベントに参加した大学関連団体（部活動・サークル・研究室等）を支援する取り組みです。

実施期間：2024年10月11日（金）～10月20日（日）まで

参加学生団体数	95 団体	RANKING	
参加総数	24,553 名	1 位	学友会漕艇部 2,158 票
寄附件数	1,006 件	2 位	ストリートダンスサークル WHO 1,682 票
皆さまからの寄附総額	7,504,824 円	3 位	学友会男子バレーボール部 1,446 票
		4 位	学友会男子ラクロス部 1,138 票
		5 位	学友会準硬式野球部 992 票



投票いただいた方からのメッセージ

Giving Campaign2024に投票いただいた方からのメッセージを一部ご紹介します。

学友会人力飛行部(Windnauts)への応援 ご家族・ご親族(50代・男性)

息子がそちらでお世話になった以降、
毎年琵琶湖で応援させてもらっています。
今年も感動をありがとうございました。
来年度はプラットフォームへの帰還を楽しみにしています！

学友会女子バレー部への応援 卒業生(50代・女性)

女子バレー部OGです。
自分が現役の時は弱小だったのですが、
今や強豪となり誇らしいです。
がんばってください！

GC
初開催！

東北地区受賞団体表彰式および交流会 「Giving Campaign2024感謝の会」を開催しました

2025年2月12日（水）、東北大学百周年記念会館 川内萩ホールにて「Giving Campaign2024 感謝の会（東北地区受賞団体表彰式および交流会）」を開催いたしました。本イベントでは、Giving Campaign2024（以下、GC2024）に参加した東北地方10大学（弘前大学・岩手大学・宮城大学・宮城教育大学・東北大学・秋田大学・国際教養大学・山形大学・東北芸術工科大学・福島大学）の学生団体や大学職員、ご協賛・ご後援いただいた企業の皆さまなど115名が参加。「表彰式」では各大学で応援数1位を獲得した団体ならびに協賛企業賞（トインクス賞・TTK賞）を受賞した団体に、表彰状が授与されました。また、受賞団体より、活動報告やGC2024に参加した想い、これからの抱負などを発表いただきました。「表彰式」終了後の「交流会」では、参加学生たちが、今回いただいたご支援や自団体の活動などについて語り合い、親睦を深めました。



表彰式後の記念撮影

寄附者からの声

東北大学では2024年度も
数多くの方々より多大なるご寄附を賜り、
心温まるメッセージや激励の言葉なども
あわせてお寄せいただきました。

「寄附ができて嬉しい」と共に想う

齊藤 宏様・和子様ご夫妻

(1962年工学部卒) (1963年薬学部卒)

齊藤 宏様・和子様からは、それぞれのお名前ですとご寄附を
いただきましたが、2022年3月にご夫婦連名で
非常に大きなご支援をいただきました。ともにご卒業生である齊藤ご夫婦が
どうして連名での寄附に至ったのか、お話をお聞きました。

受けた恩を未来に繋ぐ ― 自身の想いを貫く ―

宏氏 私も妻も東北大学から多くのものをいただけたと思っ
ているので、いつか寄附はしたいな、とずっと思っていました。
自分たちに何かあった際に相続税で持って行かれるよりも東
北大学に寄附して、御恩返しと学生のために役立ててもらえ
ると良いと考えました。

和子氏 東北大学は個性的な人が多いのですが、一方で何
かやるとなったら部局の壁を超えて非常に協力的でみんなで
一丸となる大学だと思っています。そんな東北大学が大好き
でずっと寄附したいとは思っていました。宏さんも私も無駄遣
いはしないし贅沢も好きじゃないので。今回、夫婦連名で寄
附したのは宏さんのアイディアなのですが、事前に特に相談
は無かったです。独立して会社を経営している人なので家庭
内でもワンマンなところはありますが、連名にしてくれたのは、

何も言わなくても私の東北大学への想いを知ってくれていた
んだな、と凄く嬉しく思いました。宏さんもだと思いますが、
「寄附ができてうれしい!」という気持ちにもなりました。

宏氏 これからの東北大学に期待することですが、学生と教
員の壁をもっと薄くしてもらって、距離が縮まるようになって
欲しいです。学生はみんな違うものを持って生まれてきている
ので、それを発揮できて「どんなことがあっても生きていける」
というような実感を持ってもらえると良いかと。大学は高校時
代とは違って、すごく良い時期だし、大事な時期だと思います。
学生をお客さんだと思って、真に学生に必要なことを提
供できると学生は物凄く恩義に感じるようになると思います。
恩義を受けて大学のことを想う学生を1人でも多く育ててい
く、そんな大学になって欲しいです。



株式会社キーベックス代表取締役会長

齊藤 宏様

東京都出身。1958年に東北大学工学部に進学。漕艇部に入部し1年生から始めたボート競技のエイト※で整調を務める。東北大学のエイトチームとして1960年ローマオリンピックに出場。オリンピック本選では結果を残せなかったが、オリンピック出場経験は後の人生の大きな支えとなる。1984年隅田倉庫運輸株式会社を千葉市に設立。その後1992年に社名を株式会社キーベックスに変更し、以降、「倉庫×イノベーション」を体現し続けている。

※エイト競技：漕ぎ手に指示を出すコックスと8人の漕ぎ手の計9名で構成されたボート競技。

齊藤 和子様

宮城県仙台市出身。宮城県第一女子高等学校から1959年に東北大学薬学部に進学。実家が仙台市七番町にあったため幼少のころから東北大学が身近な存在。大学に行くなら当然、東北大学に行くものと思い薬学部に進学。1963年卒業後は東北大学の化学工学専攻に就職。大学の友人で「ボート」が大好きな人が居て、その友人に誘われて漕艇部と接触するようになった。宏氏とは卒業間際に知己となったが、その後、縁があり結婚。結婚後は宏氏の仕事を手伝いつつも、基本的には専業主婦として宏氏、家族を支える。

寄附者からの声（寄附者インタビュー） <https://www.kikin.tohoku.ac.jp/004>

メッセージ全文は東北大学基金WEBサイト「寄附者からの声（寄附者インタビュー）」に掲載中です。



報告

ネーミングライツ・パートナー事業を開始しました

東北大学では、2024年度より本学が所有する施設に愛称等を付与していただく
ネーミングライツ（命名権）制度を設け、民間事業者等とのネーミングライツ事業を開始しました。

◀ Sky KAWAUCHI Forest ネーミングライツ式典の様子

実施中のネーミングライツ

施設愛称名（施設名）	ネーミングライツ・パートナー	契約期間
Sky KAWAUCHI Forest （川内厚生会館）	Sky 株式会社	2024年8月1日～2029年7月31日
Sky あおば食堂	Sky 株式会社	2025年1月1日～2029年12月31日
DENSO DOCK	株式会社デンソー	2025年4月1日～2028年3月31日

ネーミングライツ・パートナー募集概要

契約期間／3年以上5年以内（5年を上限として再契約可）
応募資格／ネーミングライツ・パートナーとなることを
希望する事業者等
決定方法／ネーミングライツ・パートナー及び愛称等は、
本学ホームページで公募の上、
本学が審査し選定します

東北大学工学部金属工学科創立百周年記念事業

マテリアル・開発系は2024年に創立百年の節目を迎えました。

創立百周年を新たな飛躍の契機とすべく、「東北大学工学部金属工学科創立百周年記念募金」の設置と以下4つの記念事業を展開。

また、2024年6月14日・15日に記念式典・記念講演会・祝賀会および学術講演会・系内見学会を開催いたしました。



記念事業ピックアップ



百周年記念碑



大講義室スクリーン設置

東北大学工学部金属工学科創立百周年記念募金

期間：2022年4月1日～2025年3月31日

ご支援件数

ご支援総額

1,036件 112,372,064円

記念事業

1. 普及啓発事業：百周年記念資料室の設置
2. 情報発信事業：百周年記念誌「るつぽ」の編集
3. 若手人材育成事業：先進材料教育・研究奨励賞の制定
4. 教育・研究基盤整備推進事業：DXに対応した教育・環境整備

2023年 9月	大講義室にスクリーンを設置 正面及びサイド片側だけだったスクリーンを一新し、 正面及び両サイドに設置
2024年 6月14日	東北大学工学部金属工学科 百周年記念展示室を設置 高額寄附企業及びMASTプレミアム会員企業20社の 企業PR製品を展示
	百周年記念碑を設置 漢字の「百」をイメージしたコールテン鋼を用いたモニュメント
2025年 6月	記念誌るつぽの発行
2025年秋 (予定)	学部学生及び博士課程奨学金制度等の開始

記念式典・学術講演会

(2024年6月14日・15日) 開催報告

東北大学工学部金属工学科創立百周年記念事業会、金窓会および教室の共催による式典および学術講演会が2024年6月14日（江陽グランドホテル）、15日（東北大学青葉山東キャンパス マテリアル・開発系）の両日にわたり開催されました。14日の式典は富永総長をはじめ、多くの来賓の方をお迎えして執り行われました。富永総長からの祝辞では、式典当日の午前中に本学が国際卓越研究大学の認定及び体制強化計画の認可の水準を満たし得るものとの結論が有識者会議において公表されたことに関連し、本学科の役割の重要性にも言及されました。森英介衆議院議員による記念講演では、大学受験から現在に至るまでのお話、本学科に対して激励のお言葉をいただきました。その後、高額寄附者の皆さまや企業様へ感謝状をお贈りいたしました。また、同日夕刻には祝賀会が開催され、200名を越える方にご参加いただきました。祝賀会では、東北大学学生歌「青葉もゆるこのみちのく」の作曲者である阿座上竹四先生の指揮のもと、学生歌を参加者全員で合唱するなど、終始賑やかな雰囲気の中で盛会のうちに散会となりました。

翌15日は会場を青葉山東キャンパスのマテリアル・開発系に移して学術講演会、系内見学会、百周年記念碑除幕式が行われました。



祝賀会にて学生歌の合唱



集合写真

東北大学基金へのご支援のお願い

東北大学の「教育」「研究」「社会との共創」の成果を通じて、
より豊かな未来社会を皆さまと一緒に実現していくため、ぜひご理解とご支援をお願いいたします。

ご寄附の方法

右記QRコードまたは下記URLよりお申込みいただけます。

お申込みURL

<https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/entry.php?fmMode=donationForm>



詳しくはこちら

お申込み手順

- ① お申込みURL・QRコードにアクセスしてください。
- ② 申込みフォームが開きます。
- ③ 寄附の種類・金額（1,000円以上）・住所、氏名等の必要事項をご入力ください。
- ④ 決済方法をお選びください。

Access! /



決済方法詳細

クレジット カード決済	下記のカードでのお申込みが可能です。     
コンビニ 決済	申込みフォームにてお手続き完了後、お近くのコンビニでのお手続きが可能です。 【ご利用可能なコンビニエンスストア一覧】セブンイレブン・ローソン・ミニストップ・ ファミリーマート・セイコーマート・デイリーヤマザキ ※コンビニ決済上限金額▶セブンイレブン、デイリーヤマザキ：49,000円以内 それ以外のコンビニエンスストア：299,000円以内
銀行振込	申込みフォームにてお手続き完了後、振込先をメールでご案内いたします。
郵便振替	申込みフォームにてお手続き完了後、払込取扱票を送付いたします。 払込取扱票が届きましたら振込のお手続きをお願いいたします。 ※払込手数料は本学にて負担いたします。
New PayPay 決済	ご寄附の方法の1つとして2024年12月よりPayPayがご利用いただける ようになりました。 詳しくはこちら▶ 
Amazon Pay 決済	Amazon Payでもお申込みが可能となりました。Amazonアカウントを お持ちの方は、より簡単にお手続きができます！ 詳しくはこちら▶ 

マイページ機能のご案内

マイページにご登録いただくと、次回以降のお申込みの際に住所・氏名等の情報のご入力が省略できます。この機会にぜひ、マイページ登録を試みませんか？

マイページのご登録はこちら

<https://www.kikin.tohoku.ac.jp/tohoku/mypageEntry.php>



ご登録はこちら

【お問い合わせ】

東北大学基金事務局

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1番1号

TEL：022-217-5058・5905 FAX：022-217-5910

E-mail：kikin@grp.tohoku.ac.jp

WEB：https://www.kikin.tohoku.ac.jp/